

鶴岡工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国語Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0040			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 3		
開設学科	創造工学科（機械コース）			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:2		
教科書/教材	「新探求 現代文B」（桐原書店）、「トータルサポート新国語便覧」（大修館書店）、国語辞典ほか						
担当教員	有地 智枝子,森木 三穂						
到達目標							
1. 論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。 2. 相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。 3. 社会で使用する言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また、論理的な文章の代表的構成法を理解できる。			論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。		論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづいて論旨を客観的に理解できる。	
評価項目2	相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。			相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。		相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築できる。	
評価項目3	社会で使用する言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケーションとして実践できる。			社会で使用する言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用法を理解できる。		社会で使用する言葉を始め広く日本語を理解できる。	
学科の到達目標項目との関係							
(F) 論理的表現力と外国語によるコミュニケーションの基礎能力を身につける。							
教育方法等							
概要	本授業の主目標は、社会人として最低限必要な「聞く」・「読む」・「書く」・「話す」ことの、総合的な能力向上を目指す。具体的な副目標は次の2点である。1 論理的思考能力の育成のために、日本語を学び直し、正確な読解力を身につける。2 グループワークを中心に、他者とのコミュニケーションの向上を図り、協調性を身に付ける。課題提出等は、目標達成のため、適宜行う予定である。国語辞典は各自用意すること。なお、2022年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、遠隔授業に変更する場合がある。						
授業の進め方・方法	基本的に講義形式で進める。またグループワークを中心とした演習形式の授業もある。						
注意点	授業はあらかじめ、予習をしてから臨むこと。ノートは必ずとること。なお、国語辞典（紙媒体・中学校で使用したものも可）は各自用意すること。						
事前・事後学習、オフィスアワー							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		1年間の授業の流れを理解し、受講する姿勢を身につけることができる。		
		2週	明解な文章を書く		読み手に言いたいことが伝わるような文の組み立てと表現を身につけることができる。		
		3週	要約の力をつける		ある程度難しい文章の内容を理解し、要点をまとめる力をつけることができる。		
		4週	資料の読み取り		表・図・グラフから、正しい情報を読み取るためのポイントをつかむことができる。		
		5週	レポート・小論文（1）		堅実なレポート・小論文を書くための、具体的手順と表記方法を学ぶことができる。		
		6週	レポート・小論文（2）		同上		
		7週	レポート・小論文（3）		同上		
		8週	評論「身体と出現」		論理的な文章を読解し、筆者の主張や、論理の展開を読み取ることができる。		
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					

後期		15週		
		16週		
	3rdQ	1週	評論「オブジェとイメージ」	論理的な文章を読解し、筆者の主張や、論理の展開を読み取ることができる。
		2週	評論「市民社会化する家族」	同上
		3週	小説「愛のサーカス」	登場人物の心情描写等を読み取り、作品に描かれた世界を理解することができる。
		4週	評論「ファンタジーワールドの誕生」	論理的な文章を読解し、筆者の主張や、論理の展開を読み取ることができる。
		5週	評論「普遍性」	同上
		6週	短歌（１）	日本の短歌に触れ、規則性や言葉の変遷や表現の多様性を理解することができる。
		7週	短歌（２）	同上
		8週	定期試験	学習内容の振り返り
	4thQ	9週	評論「詩人のふるさと」	論理的な文章を読解し、筆者の主張や、論理の展開を読み取ることができる。
		10週	小説「舞姫」（１）	登場人物の心情描写等を読み取り、作品に描かれた世界を理解することができる。
		11週	小説「舞姫」（２）	同上
		12週	小説「舞姫」（３）	同上
		13週	評論「ポストモダンと排除社会」	論理的な文章を読解し、筆者の主張や、論理の展開を読み取ることができる。
		14週	評論「支配の役割」	同上
		15週	評論「地図の想像カーボードリヤールの寓話ー」	同上
		16週	定期試験	学習内容の振り返り

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	提出物		合計	
総合評価割合	70	30	0	100	
基礎的能力	70	30	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	